

市議員 自民党 高橋のりみ

のりみが行く!!

横浜自民党では児童虐待条例の制定を
目指して意見募集を行っています!!

平成26年5月号 <vol:22>



市政報告

横浜市においても、児童虐待の新規把握件数は、統計を取り始めた平成5年度に109件であったものが、平成24年度には929件となり、前年度よりも約100件多い過去最大の件数となりました。

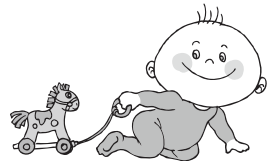
横浜市では、平成22年度に「児童虐待対策プロジェクト」を立ち上げ、平成26年5月24年度には区役所と児童相談所の連携を強化することを目的に、「児童虐待対策連携強化プロジェクト」を設置し、児童虐待対策を推進してきました。

しかし、そうした中、「平成23年12月に、施錠された居室で実母は首を吊り、14歳の女兒は首にネクタイを巻いた状態で死亡していた事例（母子ともに死亡）」、「平成24年5月に実母が無理心中を図り、3歳の男児が睡眠薬を飲まれた上、枕を顔に押し当てられ窒息死した事例（男児は死亡、実母は生存）」、「平成24年6月に、実母が無理心中を図り、2歳の男児が首を締められ、一時的に心臓停止に至った事例（母子ともに生存）」を発生してしまいました。全国でも「心中による虐待」で子供が命を失う事例は、毎年、40～50件程度発生しており減少する傾向はありません。

【児童虐待対策の推進についての平成26年度の主な取組み】

～支援策の充実～

1. 「産後母子ケアモデル事業」の拡充
2. 母子健康手帳交付時の看護職による面談等、妊娠期からの相談・支援の継続実施
3. 「育児支援家庭訪問事業」「産前産後ヘルパー派遣事業」の継続実施



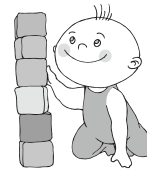
～体制の整備・強化～

1. 児童相談所の体制整備の検討（警察官経験者の配置）
2. 小学校の児童支援専任教諭の全校配置（280校→341校）



～社会的養護の推進～

1. 「施設等対処後児童に対するアフターケア事業」の推進
2. 乳児院の再整備（工事1ヶ所、設計1ヶ所）、母子生活支援施設の移設（1ヶ所）
3. 独立型の「横浜型児童家庭支援センター」を新たに1ヶ所整備
4. 里親推進事業において、里親会での里親メンター事業を本格実施



～地域子育て支援事業の推進～

1. 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の拡充（5区に事務補助員を配置）
2. いつでも親子が安心して過ごし交流できる居場所の提供や、子育て相談、子育て情報の提供などにより、児童虐待の要因となる育児不安を解消する取組の実施
3. 子育てを支える人材の育成や支援者のネットワークの推進など、地域全体で子育てを温かく見守り、支援する仕組みづくりを推進

3人の息子達を育ててきました。子育ては難しく、なかなか子供は親の思う通りには育ってくれません。そんな子育ての大変さが分かるからこそ、どうしたら尊い子供達の命を救う事が出来るのかと、事件が起こる度に胸が締め付けられる思いです。失われた尊い命に対して、深く哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りするとともに、本検証によって、横浜市はもとより他の地域においても、児童虐待による死亡事例や重篤事例が未然に防止され、子供の健やかな成長と発達の為に働いていきます！

(仮称)小柴貯油施設跡地公園利用計画 市民意見募集実施

【市民意見募集の実施概要】

(仮称)小柴貯油施設跡地公園基本計画(案)について

1. 期間

平成 26 年 5 月 7 日 (水) から平成 26 年 6 月 13 日 (金) まで

2. 市民意見の応募方法

(1) リーフレットのハガキ

(2) ファクス：045-224-6627 環境創造局緑地保全推進課あて

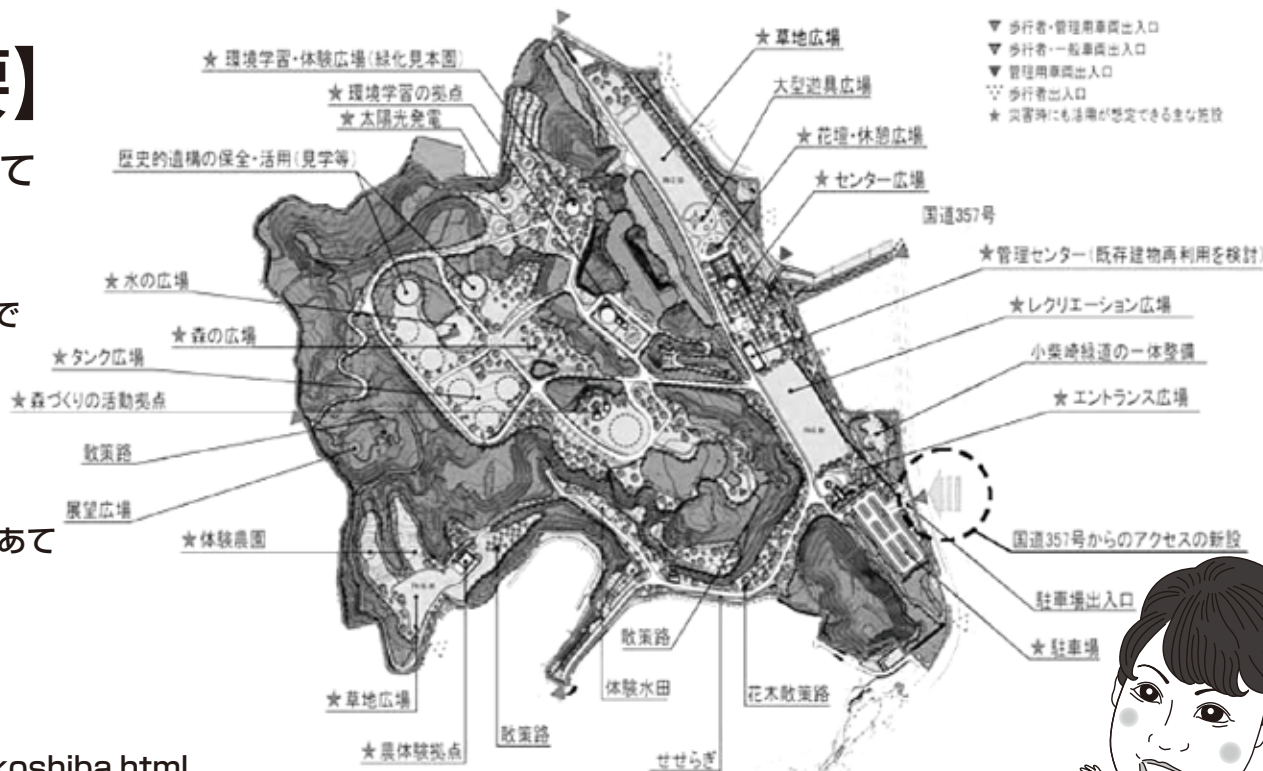
(3) 電子メール：ks-koshiba@city.yokohama.jp

(4) ホームページ内の回答フォーマット：

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/park/make/koshiba.html>

3. リーフレットの配布場所

環境創造局緑地保全推進課、市民情報センター、各区役所広報相談係、金沢区図書館、金沢区内PRボックス



いよいよ市民意見募集を実施します。ドシドシご意見を頂けたらと思います。また、今年度は横浜市会の基地対策特別委員会に所属させていただきますので、返還が決まった深谷通信所、上瀬谷通信施設の跡地利用計画の具体化に向けても検討していきます。池子米軍家族住宅については地元の皆様のご意見を踏まえ、緑の保全や道路・交通問題など、様々な課題について引き続き国に対して要望してまいります。そして、深谷・上瀬谷以外の施設についても早期に返還が実現するよう、国に対して粘り強く求めています。